

令和7年度学校評価関係者評価結果を受けて次年度に向けた改善方策

世田谷区立瀬田小学校
校長 日高 玲子

令和7年度学校関係者評価結果からの課題として指摘された内容について、それらへの対応と次年度の方針、方策を区の施策や本校から区に届けた教育課程と関連させ以下のようにまとめました。

1. 学習指導について

肯定的回答が【児童】72～96%、【保護者】68～80%で、高い水準。昨年度と比較しても肯定的な評価が向上している。

- ・教員の黒板の板書や児童のノート・プリントへの記述、タブレットの活用法については、更に効果的な工夫を行っていく。
- ・昨年度に引き続き、観察授業や研究授業の事前・事後等の授業を全教員に公開し、授業力向上を図る。

2. 生活指導について

肯定的回答が【児童】71～89%、【保護者】74～85%となった。全体的に上向き傾向にあるものの、「自分からすすんで挨拶ができる」は5ポイント減少、地域へのアンケートでも8ポイント減少している。

- ・毎月の生活目標について、全校朝会での周知とする。
- ・瀬田小学校「おもしろい5か条」の取組を今年度の重点目標に掲げ、全校児童の定着を図る。
- ・道徳や特別活動の授業を中心に、協働的な学びの中でルールやマナーの順守について考える機会を増やす。

3. 学校行事について

【児童】、【保護者】ともに肯定的回答が85～91%を越えている。

- ・瀬田スポーツフェスティバルは、学び舎である瀬田中学校の校庭を使用し、10月に開催。
- ・校庭完成まで2学期いっぱい、始業前の朝遊び、給食後の昼休みも瀬田中学校の校庭を開放していただき、校庭遊びを実施する。
- ・ゲストティーチャーや体験学習等、新校舎を存分に謳歌する取組を検討する。

4. キャリア教育について

【児童】【保護者】共に校庭意見が大幅に増加する結果となった。

- ・日常の学習を通し、自分自身の生き方について深く考える機会を積み重ねていくとともに、ゲストティーチャーや体験的な学習を積極的に取り入れていく。「振り返り」を大事にし、主体的な学びにつなげていく。
- ・クラブ、委員会、縦わり班活動等の異学年交流、高学年の中学校の授業や部活動見学、本校の学校行事に中学生ボランティアの参加を通し、身近な存在から将来を思い描く機会を増やす。
- ・学校ホームページやすぐる等で、取組について随時、配信する。

5. 教職員について

【児童】の項目において、指導に関連する肯定回答は約90%と昨年同水準を維持。【保護者】の項目についてもいずれも昨年度より増加。

- ・児童の悩みを担任が、一人で抱えるのではなく、生活指導や特別支援、教育相談等について、様々な委員会で児童の状況を全教職員で共有している。児童にも、どの先生（スクールカウンセラーも含め）に相談してもよいことを様々な場面で伝え、引き続き、安心して学校生活を送れるよう配慮する。

6. 学校全般について

【児童】、【保護者】共に、昨年度と比較して肯定的意見が全体的に増加した。「学校が好き」の項目において、肯定的意見が大幅に伸長した。

- ・新校舎での学びを満喫している児童が多い。校庭の完成も楽しみにしている。各教室が一人ひとりにとって安心できる場所であるよう、今後も学級経営の改善・向上に努める。
- ・保健室や相談室、校長室等の別室で一時的にクールダウンし、自分のペースを取り戻せるよう支援する。
- ・学校ホームページ等で、「学び舎」の交流を積極的に紹介していく。

7. 学校からの情報提供について

【保護者】、【地域】ともに昨年度から肯定的意見が増加。

- ・学校だよりをすぐーる配信と学校ホームページへの掲載に絞り、内容の充実とより一層丁寧な情報発信を行う。

8. 学校運営について

【保護者】の「保護者に重点目標を伝えている」は肯定的回答が66%から80%を超える結果となった。「教育活動への協力」についても肯定的回答が87%と大幅に増加。

- ・年度初めの保護者会にて、校長の経営方針を示し、丁寧に説明するとともに、毎月の学校だよりで学校の取組について紹介する。
- ・学校評価関係者アンケートの協力について、早めの周知とともに、リマインドを重ね、回収率を上げる。

9. 学校と家庭の連携について

【保護者】の回答において「今年度の学校重点目標を理解している」の項目では、大幅な改善が見られた。一方で、「学校公開の参加」や「PTA や地域主催の行事への協力」については、肯定的な意見が微減。

- ・毎月のPTA 運営委員会に管理職が参加し、PTA 活動の取組や課題について共有する。
- ・毎月の学校運営委員会で地域に向けて情報提供し、学校行事や地域行事のサポートを依頼する。
- ・給食試食会の継続の他、保護者の興味関心に応える取組をPTA と企画する。

10. 地域との連携について

【保護者】の回答では、地域連携に関する全項目において肯定的意見が大きく増加。【地域】については、昨年同様に高水準な評価を維持している。

- ・学校運営協議会について、それぞれの役割と適切な連携を図り、仕組みについて、保護者・地域に広く周知する。
- ・毎月の学校だよりに「学校運営協議会報告」の欄を設け内容を簡潔に掲載する。

11. 学校の安全性について

【保護者】の評価については、昨年度を上回る肯定的意見が寄せられ、極めて高い評価を得た。

【地域】においても昨年度と同水準の非常に高い評価を維持している。

- ・引き続き、校庭工事の定例会議で確認した内容を学校運営委員会で報告、共有する。
- ・今後も水害時、震災時について、地域と連携し、避難訓練を開催する。
- ・学校の避難訓練では、第二避難所への避難や引き渡し訓練において瀬田中学校で実施する。
- ・新校舎でのルールをBOP やスポーツ団体等に周知・徹底し、安全管理に努める。

12. 自由記述欄について

昨年度に続き、今年度も自由記述欄を設置し、数値データのみでは捉えきれない事象の把握に努めた。【児童】学校生活や教職員に対する肯定的な意見が多く寄せられた。【保護者】多岐にわたる提案が寄せられた。中には厳しい意見も含まれている。昨年度と比較して教職員への感謝や労いの言葉が顕著に増加。

- ・学校全体への意見だけでなく、個別事象もあるため、全体公開はしないものの、お一人お一人の学校への要望、期待を具体的に把握することができた。真摯に受け止め、今後も児童・保護者の思いに寄り添った対応に尽力していく。

13. まとめ

概ねすべての項目において肯定的意見が大幅な伸長を見せている。昨年度の調査で浮き張りになった課題に対し、教職員組織が一体となって改善に取り組んできた結果が数値、自由記述の両面に表れている。

- ・学校評価関係者アンケートの協力について、1学期（6月）、2学期（10月）の学校だよりにて協力依頼をかけ、締め切り間際まで「すぐーる」での周知、リマインドを重ね回収率の向上に努める。
- ・「学校関係者評価委員会」は、今年度で終了となる。今後は、地域を支える新たな仕組みとして「学校運営協議会」の中で分析・考察を行い、よりよい学校運営に反映させていく。